

応用生態工学会名古屋
伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発

矢作川フィールドシンポジウム

持続性を目指す流域圏

～砂河川“矢作川”での取り組み～

開催日程

平成21年11月20日(金)～11月21日(土)

- 1日目 13:00～16:30:シンポジウム
会場:豊田産業文化センター 小ホール
- 2日目 8:30～18:00:矢作川フィールドツアー
(矢作ダムから矢作川中流部を予定)

シンポジウムプログラム

趣旨説明 (13:00～13:15)

講演 (13:15～15:15)

- ダムを含む河道内土砂動態に関するご講演
藤田正治(京都大学防災研究所 教授)
- 矢作川上流森林域の環境に関するご講演
洲崎燈子(豊田市矢作川研究所 主任研究員)
- 河道内土砂環境と河川生物の生息環境に関するご講演
萱場祐一((独)土木研究所 自然共生研究センター センター長)
- 干潟域・海域の環境に関するご講演
鈴木輝明(愛知県水産試験場 場長)

《休憩》

総合討論(15:30～16:30)

終了後 懇親会(場所、時間等は当日お知らせします)

フィールドツアー行程

- 8:30 名鉄豊田市駅前集合
矢作ダム
置土試験地
越戸ダム等のダム群
河道のアーマー化(古嵐地区)
砂州形成区間
18:00 JR三河安城駅解散

	定員	参加費
シンポジウム	200名	無料
フィールドツアー	40名	無料※1

※1 ただし、昼食代として実費を頂きます(当日、徴収します)

- 申込み詳細は裏面をご覧ください。
- 定員になり次第受付を締め切らせていただきます。
- シンポジウムプログラム、フィールドツアー行程は現在調整中につき、お断りなしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

主催: 応用生態工学会名古屋
文部科学省科学技術振興調整費受託研究「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」研究グループ
後援: 国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所 矢作ダム管理所
協力: 豊田市矢作川研究所
連携協力: 生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会



パートナーシップ事業

COP10を応援します

【開催趣旨】

「持続可能な社会を如何に築いていくのか？」

21世紀を生きる我々に突き付けられたこの大きな命題に取り組む時、水、物質の流れの基本的な単位である流域圏での持続性のあり方を、改めて模索し構築していく必要があると思われます。

本フィールドシンポジウムでは、『持続性を目指す流域圏～砂河川“矢作川”での取り組み～』というテーマのもと、矢作川流域圏での安全・安心な生活と生物生息環境を持続的に守っていくための取り組みを、フィールドツアーを通じて皆様に体験していただきたいと考えています。

ここでは、持続性を目指した流域圏の在り方について、“砂”に着目し、上流域のダム堆砂の問題とその対策(例えば、排砂、置土など)、それに関連する中下流域のアーマー化や河口部の砂州・干潟の減少による課題など、それぞれの環境に依存する生物と砂の関係に焦点を当て、シンポジウムを通じて皆さまと議論していきたいと考えております。

なお、本シンポジウムでは、来る2010年に名古屋で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)のプレ・イベントとして、流域圏の持続性を目指すことが生物多様性をどのように支えているのかについて、シンポジウムのパネルディスカッションで議論したいと考えております。

本企画は応用生態工学会名古屋のイニシアティブのもと、応用生態工学会の普及、COP10対応戦略の一環として企画されたもので、また2006年度から連続開催の文部科学省科学技術振興調整費「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」研究グループのアウトリーチにも位置づけられています。

《申込先》

参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申込みください。

●FAX：052-789-3727

●電子メール：administrator@errp.jp

《問い合わせ先》

〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻水工学講座

●TEL：052-789-4626

●FAX：052-789-3727

●電子メール：administrator@errp.jp



矢作川フィールドシンポジウム 持続性を目指す流域圏 ～砂河川“矢作川”での取り組み～

参加申込書(FAX用)

応用生態工学会事務局

フリガナ			
氏名			
所属			
連絡先	〒 -		
TEL			
FAX			
E-mail			
参加希望 行事に○ をお付け ください	シンポジウム	11月20日(金)	
	懇親会 ※会費は当日に別途徴収します。	11月20日(金)	
	フィールドツアー	11月21日(土)	

※お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営管理のみに使用します。